

令和6年度 野幌中学校 学校評価全体計画

1. 目 的

- 1) 本校の重点教育目標具現化の取組や重点指導内容、教育活動等について、組織的・計画的に改善を図る。
- 2) 学校評価の実施、結果公表・共有による家庭や地域との連携協力を図った学校づくりを進める。

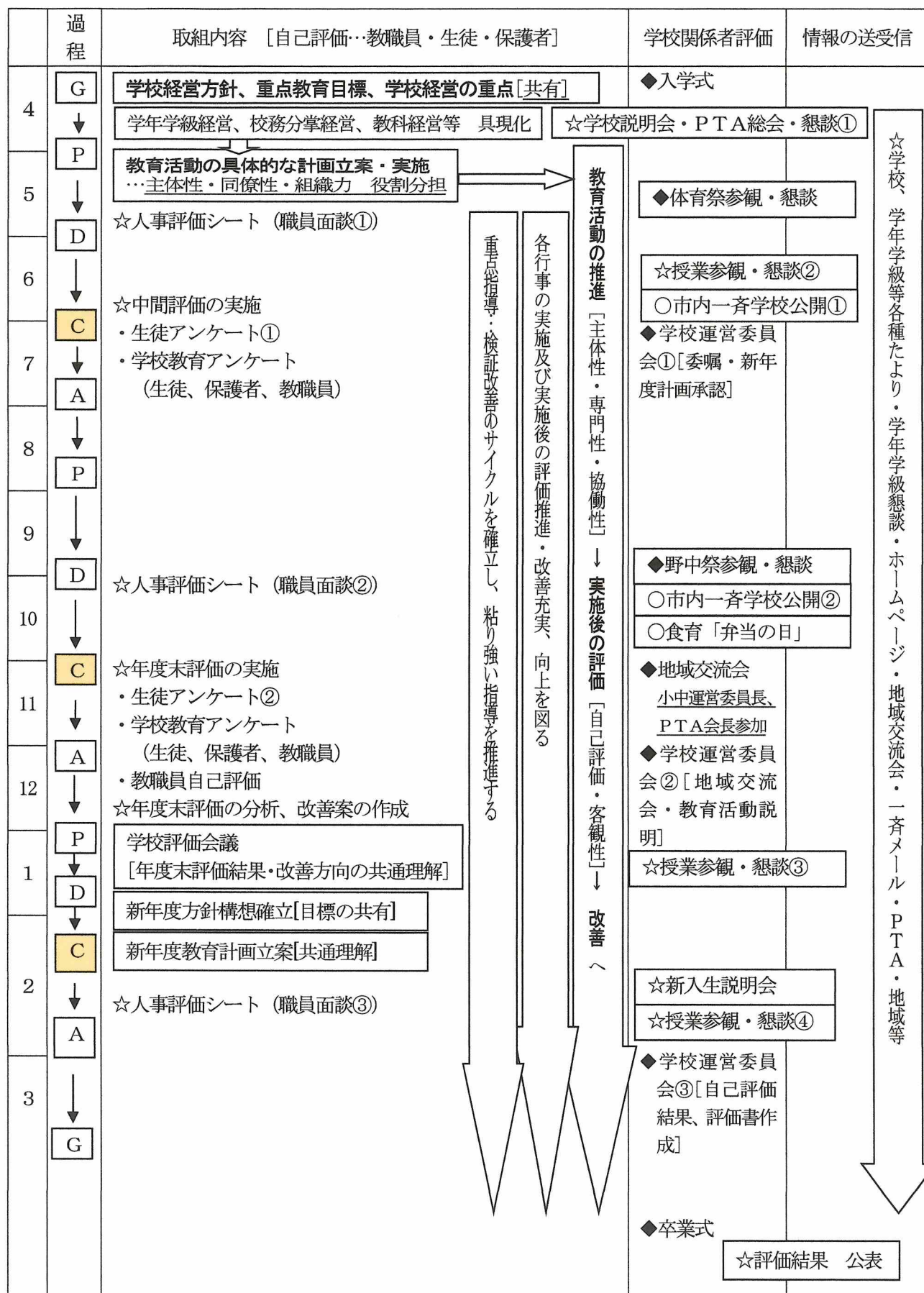
2. 基本的な考え方

- 1) 学校改善につなげる。(G-PDCAサイクルの確立・定着)
- 2) 成果と課題を明らかにし、改善の方向性や方策の共通理解を図る。(協働促進)
- 3) 客観的な評価を行う。(数値化)
- 4) 説明責任・結果責任を果たす。(計画・実行・検証・改善更新)

3. 評価内容、評価方法

	名 称・評価者	評 価 内 容	時 期	担 当
自 己 評 価	学校教育アンケート (生徒) (保護者) (教職員)	生徒、保護者、教職員の3者で、質問項目を揃えて実施する。3者の意識の相違、意識の変遷を見取り、学校改善に役立てる。 結果については、7月、12月の学校だよりで公表する。	7月、12月	教 頭 校 長 各学年
	行 事 (教職員、必要に応じて生徒)	全校にかかわる行事や旅行的行事等について、実施後1週間をめどに回収し、次回職員会議に集約と改善点・方向性を提示する。	行事ごと	各分掌 各学年 担 当
	いじめ実態等、生徒指導関連実態調査(生徒)	「いじめ」や「インターネットトラブル」等の実態把握に努め、問題行動等の未然防止、早期解消、再発防止に努める。	いじめ: 6、10月 適宜	指 導 各学年
	標準学力検査(NRT)や 全国学力・学習状況調査、 全国体力・運動能力運動習慣等調査、英検I B A等	客観的データを基に定着度や課題等の分析を行い、改善の方向性を示す。	6月、9月 11月	研 究 各学年 各教科
	学校職員人事評価シート (教職員)	学習指導や生徒指導、いじめの対応、保健指導、校務分掌、学校事務等に関する個々の目標や方策、実現状況や課題を自己評価し、改善方策を検討する。	5月、10月、 2月	校 長 教 頭
	教職員自己評価 (教職員)	重点教育目標や学校運営・教育活動全般にわたって総括的に検証し、改善の方向性を示す。	11月(年末 評価)	教 頭
	生徒アンケート(生徒)	生徒の生活実態の把握、授業における意識の把握を目的として実施する。実態把握をもとに、授業改善等に役立てる。項目等については研究部で検討し、年2回実施する。集計については研究部で行うが、記述の部分については、教頭が行う。	6月、11月	研究部 教 頭
外 部 評 価	学校運営委員会 (学校関係者評価)	目標の達成状況や取組状況、適切さなどについて評価してもらい、その結果から教育活動の改善点を探る。	2月	教 頭 教育課程 検討委員会

4. 年間の評価活動の流れ (目標⇒計画⇒実践⇒検証⇒改善)



☆学校経営について情報発信・受信
○市内一斉行事 ◆学校運営委員会

令和 6 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 7 年 2 月 2 8 日

江別市立野幌中学校

1 本年度の重点目標

夢を持ち、挑戦し続ける生徒の育成

～「野中プライド」を基盤にしたトライ＆エラーを通して～

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	学校の実態を踏まえ、教職員一人一人を活かした効率的な組織運営と協働体制が図られている。	A	○学校教育アンケート（生徒・保護者・教職員）、人事評価シート、学習（生徒・教職員）アンケート、学校評価、いじめアンケート等の結果を踏まえた改善による学校運営をより一層推進する。 ○学年や分掌など、組織体制の充実を図り、各種アンケートや調査結果を分析し、生徒の実態に応じて真摯に対応し改善を図る。 ○定例の校内運営委員会以外にも随時分掌間の連携を図り、意思疎通を図る。 ○グランドデザインの作成について、自分事の意識を高め、全職員の参画を促し、協働体制の構築を図る。 ○個業中心の業務から、組織で対応する体制を構築する。	A	A
	校内外の研修を通して、一人一人の教職公務員としての資質向上（指導力の向上）が図られている。	A	○研究部を中心とした、一人1実践の研究授業に継続して取り組み、授業の相互参観など、組織的な研究体制を構築する。 ○Q Uの結果の見取りについて職員研修会を実施し、素早く対応することを心がける。 ○不登校生徒や配慮が必要な生徒等の今日的な課題を理解するための職員研修会を実施する。 ○各種調査分析結果を授業改革に生かし、生徒の資質・能力の向上を目指す。 ○学習評価の在り方についての研修。	A	A
	積極的な情報発信を通して、保護者、地域との信頼関係の構築が図られている。	A	○HP、メール配信、学校便り、学年便り、学級便り等を通じた積極的な情報発信に努める。 ○PTAの地域交流会を小中一貫教育の一端を担う事業に置き、地域、保護者、学校運営委員等と意見交流を行う。 ○制服リユース販売について継続した事業になるよう、積極的に地域に情報発信し、提供をしてもらう。	A	A

教育課程・学習指導	学校の実情を踏まえ、創意ある教育課程が編成され、授業時数の確保が適切になされている。	A	○各学年ともに余時数の確保に努める。 ○教育活動全般において検証改善サイクルを機能させ、カリキュラム・マネジメントを行う。 ○外部講師等を招き、心を豊かにする教育活動を積極的に取り入れる。	A	A
	対話やICT（情報通信技術）の活用など、わかる授業を目指した指導方法の工夫が図られている。	A	○日常的に対話を取り入れた授業改革が行われており、継続して取り組みを推進する。 ○ICT機器を効果的に活用し、個別最適な学びの実現に向けた研修会を実施する。 ○本校の研究仮説とタイアップさせ、わかる授業を目指し、他教科の授業においても積極的に交流を促す。	A	A
	各学年で、家庭学習の習慣化を目指すなど、学力の向上が図られている。	B	○家庭学習の習慣作りに向け授業展開の工夫、計画表の作成、保護者啓発を継続する。 ○家庭学習の習慣化に向け、放課後学習会への参加を促し、学習習慣を身につけさせる。	B	A
生徒指導	服装、頭髪、時間を守るなどの基本的な生活習慣の定着が図られている。	A	○ノーチャイムの実施により、生徒自身が時間の見通しを持ち、主体的に行動するよう、支援を行う。 ○学校スローガン「野中プライド」を意識し、さらに「トライ&エラー」を生活の中で意識させ、野幌中の伝統へと繋ぐ。	A	A
	思いやりの心、好ましい人間関係を構築するため、元気に声を出して挨拶を教師と生徒間で励行している。 相手の立場を尊重し、いじめはどんなことがあっても許されないと考える生徒への指導が適切に行われている。	B	○生徒の実態に合わせ、道徳教育を推進し、タイムリーな道徳教材によって生徒の心を養う。 ○毎朝の教職員による挨拶運動を継続し、好ましい人間関係の構築を図る。 ○相談活動の充実に向け、教育相談週間等を設定した実践を推進する。 ○日常的に生徒について寄り添い、生徒理解に向けたコミュニケーションの充実を図る。 ○いじめの防止・早期発見のため、定期的に「いじめ防止対策委員会」を開催し、速やかな確認・報告・指導の徹底を組織として真摯に対応する。 ○いじめはどんなことがあっても許されないと思う生徒の割合100%を目指す。	B	A
小中一貫教育	小中一貫教育に向け、校区内での小中合同CS会議や、PTA地域交流会の開催、部活動の地域イベント参加など、地域との交流を図っている。	A	○次年度も合同CS会議を実施し、野幌中学校区の交流を図る。 ○持続可能な地域交流会を実施する。 ○持続可能な制服リユース販売に向け、整備を行う。 ○吹奏楽部による地域への演奏や、校区内の小学校での演奏を継続する。	A	A
	校区内の小学校と密に連絡を取り、義務教育9年間の連続した教育課程と捉え、教育活動の改善と推進を行っている。	A	○中学校での合唱交流会への小学校の参加を継続して実施する。 ○入学説明会時の中学校体験授業に参加することで、スムーズに入学することを期待し、継続させる。 ○若葉・東野幌・野幌の3小と野幌中による児童生徒(不登校・支援が必要・ネットトラブル等)の引継ぎ交流会を確実に実施する。	A	A
【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】 ・これからも子ども達のためにご尽力いただきますようお願いいたします。 ・日頃より先生方には生徒に寄り添った教育・学習指導に加え、常に改善を推進いただいております。委員としましては、深く感謝申し上げます。学内のみならず、地域に向けても学校運営を継続いただいております。評価項目の達成がほとんど成されていることから、先生方の努力が成果となっているとの認識です。今後も地域の一員として微力ながら生徒や先生方との一助となる様に協働させていただきます。 ・学習指導と生徒指導の2項目で、自己評価がBについては低いような気がします。結果として成果が出ていない故のBなのかもしれませんが、学校として、しっかりと取り組まれていると思うのでA評価で良いと思います。 ・丁寧な御指導ありがとうございます。家庭学習についての評価ですが、習慣化については学校では十分御指導いただいていると思います。各御家庭での、生活や会話の工夫も必要だと思いますので、自己評価の適切さについてはBとしました。					
【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない					

7月学校教育アンケートへの御協力、ありがとうございました

学校教育アンケートへの御協力、ありがとうございました。次回12月もGoogleフォームでアンケートを実施いたしますので、さらに多くの保護者の皆様のご回答を、よろしくお願いいたします。

回答については、様々な御意見、御指摘、御要望をいただきました。本当にありがとうございます。しっかりと検討・対策を行い、今後の学校運営に生かしてまいります。

※回答いただいた評価を、A = 4 B = 3 C = 2 D = 1として平均値を算出しています。(最大値4)

■ 教職員 ■ 保護者 ■ 生徒

【質問項目】



【保護者アンケートから】

部活動についてや、夏場の暑さ対策、自転車通学、授業に関する御意見・御指摘をいただきました。ありがとうございます。生徒数も徐々に増えており、日々、子どもたちは生き生きと学校生活を送っています。しかし、学校環境はめまぐるしく変わってきています。将来の予測が困難な時代ですが、トライ＆エラーを通して、子どもたちの成長を促し、『チーム学校』としてしっかりと時代の流れをつかみながら、子どもたちのために真摯に対応し、改善に向け取り組んでまいります。

【生徒アンケートから】

「各教室にエアコン設置を」という要望が多数あり、さらに学校行事や学校の施設設備等についても子どもたちから意見をいただきました。ありがとうございます。今年度、各教室にはスポットクーラー、サーキュレーター、扇風機が設置されています。エアコン設置については江別市の対応となり、学校単独では解決できない問題ですので、御理解をお願いいたします。ただ、保健室にはエアコンが設置されましたので、体調がすぐれない場合は利用をしています。引き続き、水分補給や着衣での体温調節、冷涼グッズで夏の暑さを乗り切るように、子どもたちへの声かけをお願いします。

第2回学校教育アンケートへの御協力、ありがとうございました！

7月に引き続き、12月の学校教育アンケートへの御協力に感謝いたします。前回同様、Googleフォームを活用して実施しましたが、次年度以降も同様に実施させていただきます。今後も、多くの保護者の皆様に御回答をお願いしたいと思います。御回答いただいた皆様、御協力ありがとうございました。

さて、本日で後期前半（第3節）が終了します。令和6年4月に新年度がスタートして9ヶ月が経過し、体育祭や学校祭など、各学年で様々な取り組みが行われました。保護者の皆様、生徒の皆さんから、御意見、御指摘、御要望をいただきました。ありがとうございました。中には心温まる記述もあり、今後の励みになるご意見もありました。

紙面の都合上、全てを取り上げることはできませんが、いただいた御意見を元に、今後の学校運営に生かしてまいります。

【教室環境】への御意見・御要望

■今年も猛暑により、学校にエアコンの設置を強く要望される御意見がありました。

今年は、市内全校の保健室にエアコンが設置され、さらに普通教室にはスポットクーラー（簡易エアコン）が設置されました。しかし、スポットクーラーだけでは涼しくすることは非常に難しい状況であり、子ども達には『暑い教室』での生活となってしまいました。

本格的なエアコンの設置に関しては、江別市の予算で準備されるものであり、学校の判断では、エアコンの設置は不可能であることについて御理解いただくよう、お願いいたします。

なお、暑い日中に学校での活動を避けるため、今年度より夏休みも延長され、今年も昨年同様「冷涼グッズ」の使用も許可しております。今後も、子どもたちの健康状態、そして『命』を第一に考え、少しでも快適に、涼しく、安全に学校生活が送れるよう、取り組んでまいります。

保護者の皆様、生徒の皆さんの御理解をお願いいたします。



【アンケート】への御意見・御要望

■アンケートに対する御意見がありました。



野幌中学校では、年2回（7月・12月）に生徒・保護者・教職員に、同様の設問でのアンケートを実施しております。生徒・保護者・教職員、それぞれの立場から野幌中学校の教育活動について回答していただき、アンケートでいただいた回答を元に、より良い学校生活、学校教育に繋げることを目的としております。

保護者アンケートからは、2点、御意見がございました。

①『アンケートの回答について。回答の選択肢を増やしてほしい。「普通」「どちらでもない」等を選ぶようにしてほしい』という御意見でした。現在はA B C Dの4段階評価であり、特に、保護者の方においては、なかなか判断がつかない設問もあると思いますので、次年度以降、「どちらでもない」という回答を含めた『5段階評価』に変更して実施させていただきます。

②『保護者アンケートは意味がない。学校の様子がわからないのに回答できない』という御意見でした。保護者の皆様にとっては、学校生活の様子がすべて見えるわけではありませので、難しい設問があり、御迷惑をおかけしています。ただ、アンケートの趣旨としては、生徒・保護者・教職員が同様のアンケートを行い、三者の目線から御意見をいただき、学校教育の質の改善・向上を目指すものです。

そこで、上記①のとおり、わからない・不明・判断がつかない等の場合は「どちらでもない」という回答の選択肢を増やしますので、そのように回答していただくようお願いいたします。お忙しいとは存じますが、次年度以降も「学校教育アンケート」への御協力、よろしくをお願いいたします。

貴重な御意見をいただき、今後に生かしてまいります。本当にありがとうございました。

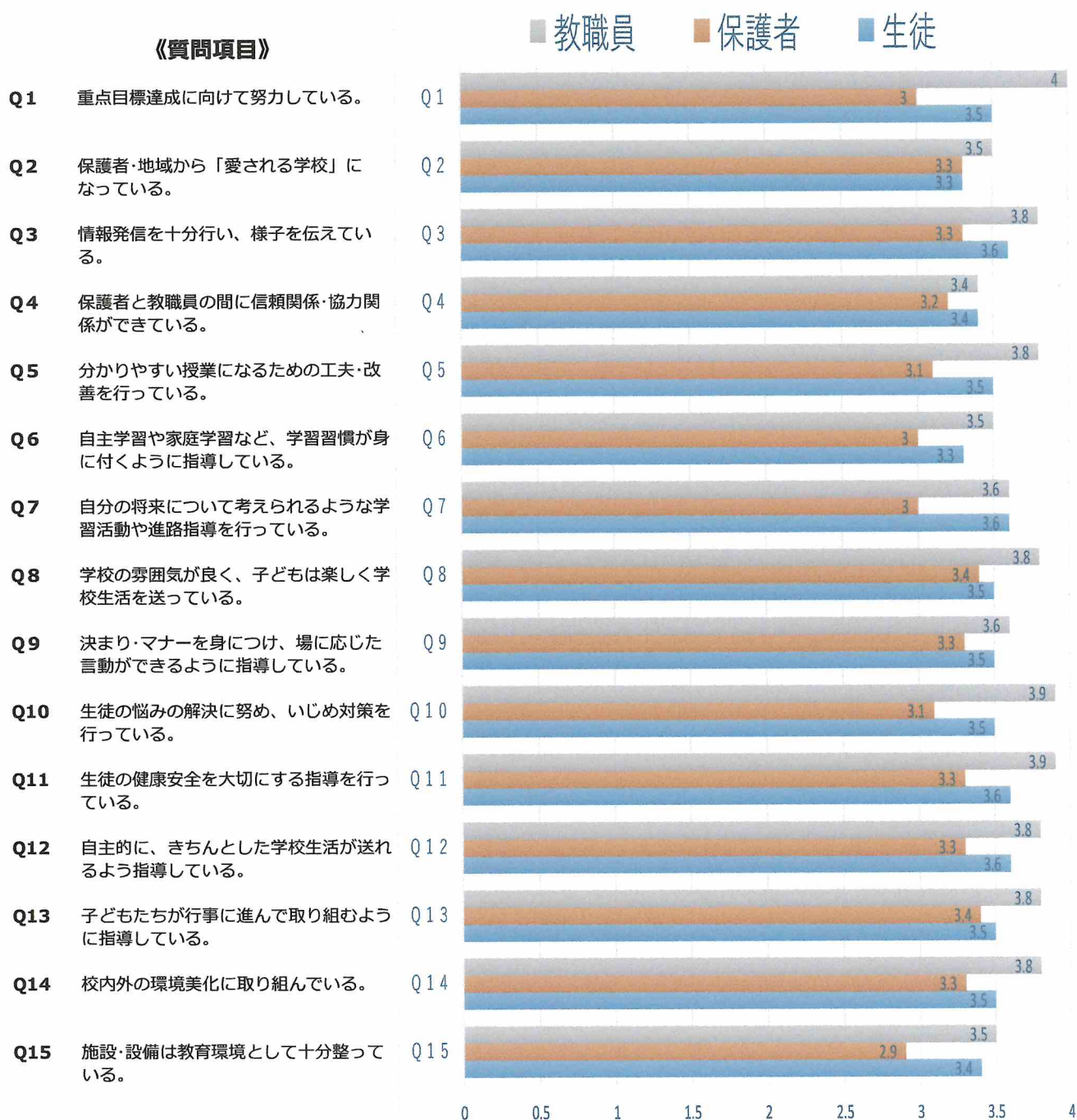
★他には、生徒や教職員から、学校設備に関する要望等々、記述をしていただきました。学校単独で判断し、新しく設備できるもの（学級の棚の修繕・遮光カーテンの設置・体育館で使うボール・新しい山台の購入など）については、順次可能なものから準備させていただきます。

★また、校内での『指導内容』『指導事項』に関するご意見もいただきました。ありがとうございます。学校として、早急に対応させていただきます。ありがとうございました。

☆次年度に向けて、いただいた御意見、御指摘、御要望を元に真摯に取り組んでまいります。

※回答いただいた評価を、A = 4 B = 3 C = 2 D = 1として平均値を算出しています。(最大値4)

【第2回学校教育アンケート結果】



【7月アンケートと12月アンケートの比較】

- ◎ 生徒アンケート で7月よりポイントがアップ↑した項目 【Q1・Q3・Q6・Q7・Q13】
- 生徒アンケート で7月よりポイントがダウン↓した項目 【Q15】
- ◎ 保護者アンケートで7月よりポイントがアップ↑した項目 【Q2・Q4・Q6・Q7・Q12・Q15】
- 保護者アンケートで7月よりポイントがダウン↓した項目 【Q1】

☆生徒・保護者共通して、【Q6自主学習や家庭学習】【Q7学習活動や進路指導】について前回よりポイントが上がっています。
 ☆保護者アンケートで、【Q15 施設・設備などの教育環境】が平均2.9ポイントと一番低い結果となりました。

* 保護者アンケートにつきましては、判断がつかない部分もあり、評価が難しい面がありますが、生徒・保護者・教職員の評価が、概ね同様になることが大切だと考えております。教職員と生徒・保護者の評価で、差がついている項目に関しては、学校側として真摯に受け止め、解決に向けて検討してまいります。御協力、誠にありがとうございました。